

社会福祉法人打越保育園の保育について

概 要

<所 在>

〒192-0907 (本園) 東京都八王子市長沼町 793

TEL042-635-2415 FAX042-637-1448

E-mail : uchikoshihoikuen@ia4.itkeeper.ne.jp

(分園) 東京都八王子市片倉町 717-4

TEL042-638-0321 FAX042-638-0322

<沿 革>

設 立 者 社会福祉法人打越保育園

創立年月日 昭和 39 年 7 月 1 日

東京都認可 昭和 40 年 2 月 20 日

名 称 社会福祉法人打越保育園

代 表 者 理事長 光宗 政治

園 長 光宗 政治

<定 員>

(本園) 140 名 (0 歳指定・延長保育実施)

令和元年 10 月 1 日現在在園児数 153 名

(0 歳 12 名、1 歳 21 名、2 歳 26 名、3 歳 34 名、4 歳 30 名、5 歳 30 名)

(分園) 13 名

令和元年 10 月 1 日現在在園児数 12 名

(0 歳 4 名、1 歳 6 名、2 歳 3 名)

<開園時間および休園日>

開園時間：本園 7時から 19時まで（18時から 19時までは延長保育時間）

分園 7時から 18時まで

休園日：日曜、祭日、年末年始（12月29日から1月3日）



本園：平成2年4月開設



新館：平成29年4月開設（障がい児用）



分園：平成 29 年 4 月開設

ここで、東京都福祉保健局から事前に質問事項がありましたので、個別に Q
a n d A 方式にてお答えします。

Q1. 打越保育園で医療的ケア児を受け入れるきっかけは

A1. 年に 50 回位てんかんを発症する自閉症の子、プラダウィリー症候群・双子
の子どもで早産の為脳が発達していない子ども等、打越保育園では、医療的ケ
ア児を受け入れる前から多数の障害児を受け入れていました。

また、打越保育園では、障害がある子どもも入園希望がある場合はどんな症状
であっても受け入れる事を基本として考えていました。そのような中、医療的
ケア児の入園は平成 23 年 4 月から行いました。



平成 23 年 4 月入園頃

パリスターキリアン症候群他

酸素吸入・経管栄養



平成 28 年 3 月卒園頃

経管栄養のみ

Q2. 現在の受入れ状況 どのような病気や障害、医療的ケアを実施しているか

A2. 別表参照のこと

Q3. 日々の保育の中でどのように医療的ケアを実施しているか。

A3. 通常、保育園の生活において、健常児と障害児の特別な差はありません。

しかし、給食時に於いては、新館において、経管栄養・胃ろう等を行いますので本館より移動します。給食後は、その横の部屋にて午睡を行います。理由としては、その部屋にて、看護師が事務等を行っていますので、急な場合に対応する為です。



新館1階ケアルームにて経管栄養及び胃ろう中



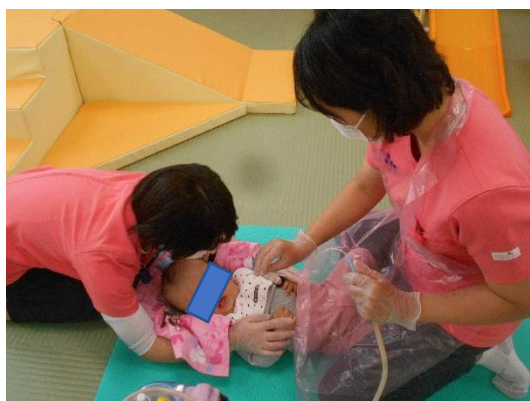
午睡中

Q4. 看護職と保育職の役割分担、また、開始当初に職員の不安等へはどのように対処したか。受け入れ開始の為の研修等を実施した経緯があればその状況

A4 看護職と保育職の役割分担については、基本的には朝から夕まで医療的ケア児に看護師は付きません。看護師は医療的ケア（経管栄養・胃ろう・導尿等）の必要な時だけ対応し、その他は保育職が全てに対応します。但し、1歳児ファイバー症候群の子どもについては、朝登園時から夕の降園時まで、担当看護師が付きまます。また、5歳児クラスにおいては、ウエスト症候群の子どもが呼吸停止（保育園では最長10秒・自宅では1分30秒）になる症状がありますので看護師が一人クラスに常駐しています。

保育開始においては、入園前に園長・看護師・栄養士・クラス担当チーフ保育士等で障害児の保護者から病気の症状・家庭での状況・食事の状況等詳しく聞き取ります。また、必要があれば入院している病院にまで聞き取りに出向きます。この様にして事前調査を行い、後日他の看護師・栄養士・保育士に詳しく説明しますので、特に不安等は有りません。

園内研修としては、夏の間各クラスに在籍している障害児について専門書・インターネット等にて調べ全職員の前でクラス単位で発表を行い、全職員が在籍している障害児について理解する事を毎年行っています。



1歳児ファイバー症候群 吸引中



給食中

Q5. 医療機関や支援関係者の連携の仕方、工夫

A5. 障害児が通院している医療機関として一番多いのは、東京都立小児総合医療センターで他に日本赤十字社医療センター・東海大学八王子病院・国立成育医療研究センターがあります。連携としては、島田療育センター八王子・多摩日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション多摩クリニックです。

医療機関や連携機関に障害児が通院する場合には、保護者の承諾を得て1年間で2から3回位看護師・栄養士・保育士等が同行し保育園で気を付けないといけない事や留意点を担当者に聞き保育園での活動に生かしています。また、不明な点がある場合には、直接担当医に直接電話して確認しています。

Q6. 園の施設・設備・環境整備上の配慮や工夫

A6. 工夫としては、新館2階に調理室を設置し、障害児個々の給食を栄養士が作る。
作った給食の喫食状況を栄養士がチェックする。



新館1階 ケアルーム



ケアルーム内部



新館1階 障害児プレイルーム



新館2階 給食室



特別食調理状況



新館 2 階 ランチルーム



新館 2 階 ランチルーム食事中



新館 2 階にて午睡中

Q7. 保護者の反応、地域の理解

A7 八王子市の場合、入園希望の保護者は、希望する保育園を事前に訪問しその保育園の事を理解する事になっていきますので、現在の保護者は、打越保育園には、障害児が多数在籍している事を理解の上子どもを入園させていますので特に問題はありません。地域に於いても打越保育園が新館を建設する時に障害児専用の建物と説明していますので理解して頂いていますので問題等はありません。

Q8. 園として大切にしている事

A8 打越保育園では統合保育をしています。子ども達は障害児に対し偏見・差別的な

見方はありません。このまま、素直な気持ちを持って育ててほしいと願っています。

その他

- ・看護師による経管栄養についての説明（令和元年9月30日）



- ・運動会（令和元年10月5日）





・遠足（令和元年 10 月 9 日）

